

# 多彩な花とイベントでいきなり

## 第4回夢追い長島花フェスタ



3月29日に開幕した第4回夢追い長島花フェスタでは、およそ50種50万本の多彩な花ばなと、さまざまな催しを実施し、町内外から多くの来場者でにぎわいを見せました。

4月6日には町文化ホール駐車場で『春の木市inながしま』を開催し、植木や花の苗などが販売されたほか、ツツジやラカンなどの苗木の競りが行われました。競りには、花フェスタ来場者が飛び入りで参加するなどして楽しんでいました。

同日、同ホール内では、フラワーアレンジメント教室がありました。青果業を営む川添洋さん（山中）を講師に迎えた教室に、女性を中心に20人が参加。参加者は川添さんから、生け花を長持ちさせるコツなどを教わりながら、バラやスイートピー、カーネーションなどを生けました。

17日には、花フェスタ恒例となったグラウンド・ゴルフ大会が川床コミュニティ運動場でありました。町内を含む北薩地域の96チーム480人余りが参加し、はつらつとしたプレーを見

せていました。

20日は、町文化ホールで『和太鼓祭りinながしま』が開催され、出水・阿久根地区の3団体による迫力ある和太鼓の競演が約600人の聴衆を魅了しました。出演した3団体が一堂に会することは非常に珍しく、観客の中には鹿児島市内から駆け付けた人もいました。演奏では和太鼓独特の重低音が時に激しく時には軽快なテンポで轟き、奏者の熱気が会場内を包み込みました。演奏の最後には3団体合同による総勢40人を超える共演で、この日一番の盛り上がりを見せました。

出水市からフラワーアレンジメント教室に飛び入り参加した覚堂愛梨さんと市前陽菜さんは「フラワーアレンジメントを初めて体験した。楽しかったので機会があればまた参加したい」と話しました。

和太鼓祭りの観賞に訪れた江口尚紀さん、桂子さん夫妻（小浜）は「どの団体も個性と迫力がある演奏で素晴らしかった」と感動した様子でした。